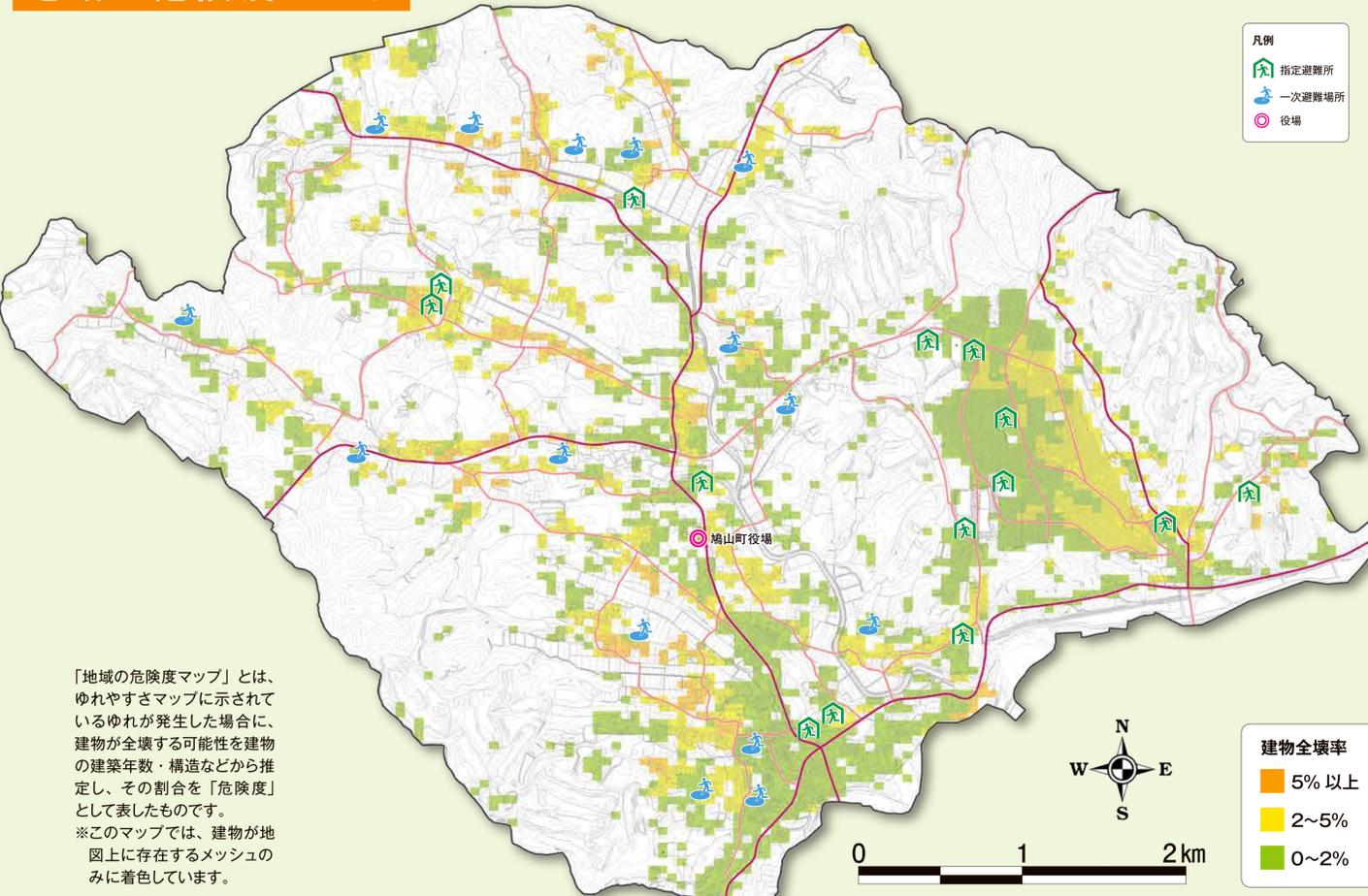


地域の危険度マップ

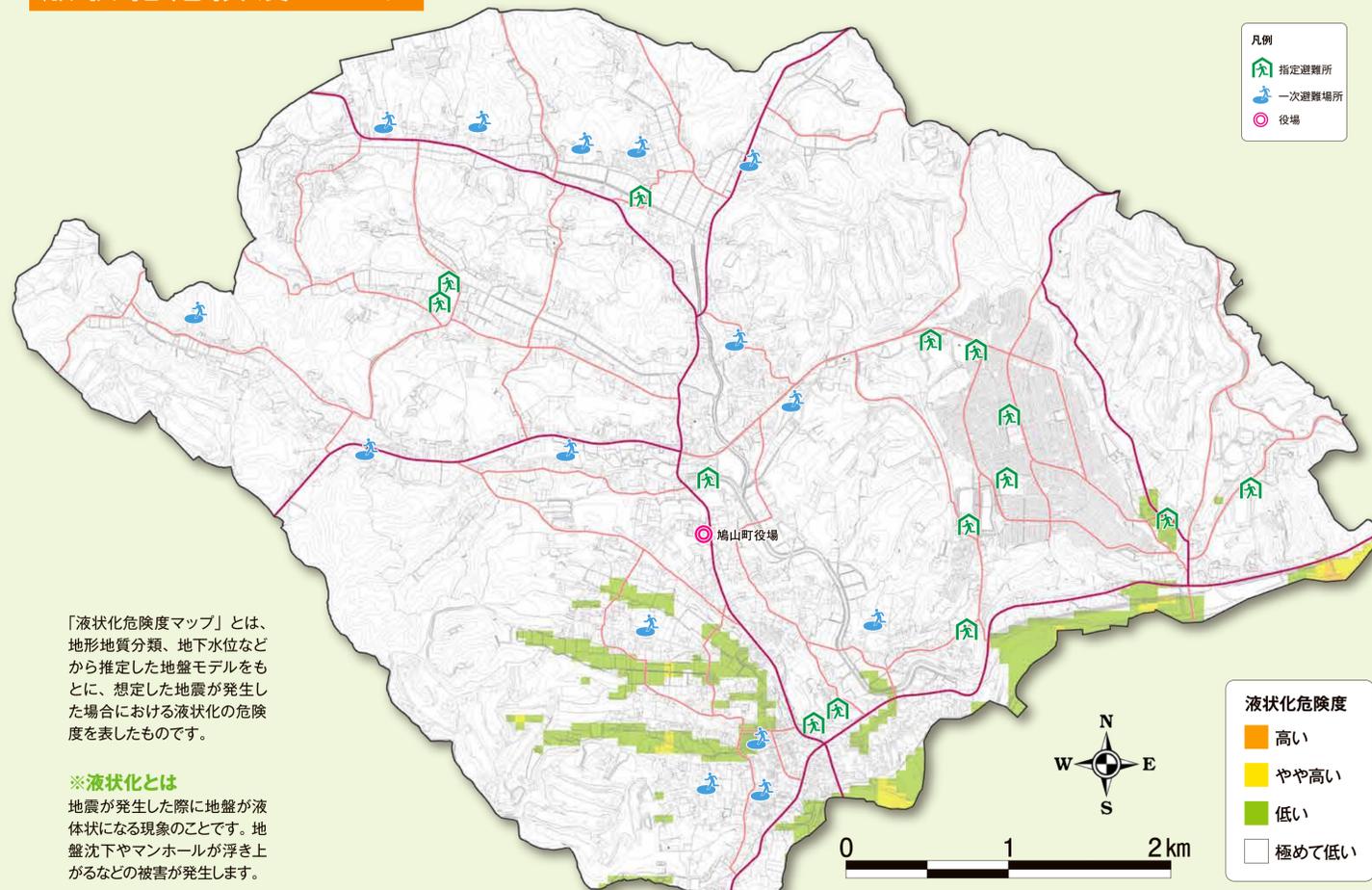


「地域の危険度マップ」とは、ゆれやすさマップに示されているゆれが発生した場合に、建物が全壊する可能性を建物の建築年数・構造などから推定し、その割合を「危険度」として表したものです。
※このマップでは、建物が地図上に存在するメッシュのみに着色しています。

- 凡例
- 指定避難所
 - 一次避難場所
 - 役場

- 建物全壊率
- 5%以上
 - 2~5%
 - 0~2%

液状化危険度マップ



「液状化危険度マップ」とは、地形地質分類、地下水位などから推定した地盤モデルをもとに、想定した地震が発生した場合における液状化の危険度を表したものです。

※液状化とは
地震が発生した際に地盤が液体状になる現象のことです。地盤沈下やマンホールが浮き上がるなどの被害が発生します。

- 凡例
- 指定避難所
 - 一次避難場所
 - 役場

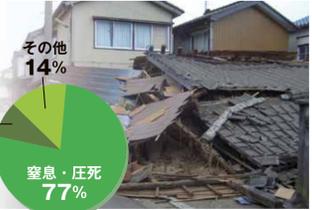
- 液状化危険度
- 高い
 - やや高い
 - 低い
 - 極めて低い

耐震化の重要性

耐震化の重要性

●地震による死亡・ケガの原因は？

阪神・淡路大震災での死者のうち、約8割はゆれによる建物倒壊、家具類の転倒による圧死といわれています。



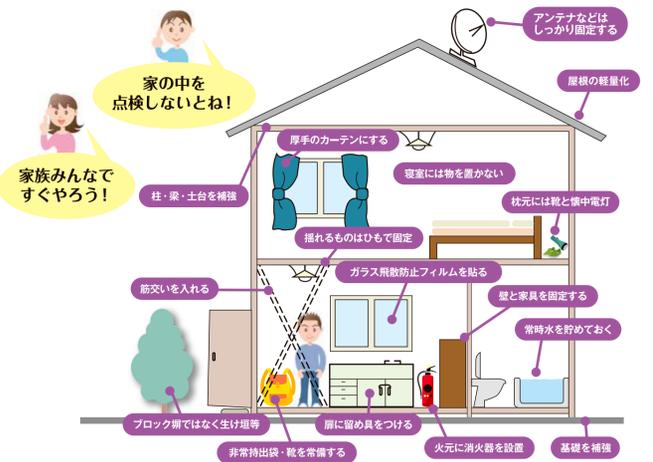
皆さんの生命や財産を守るためには、住宅・建築物の耐震化が極めて重要です。

阪神・淡路大震災の死亡原因
出典：内閣府「福山市地震防災マップ」

被害を防ぐために

家の中、周りの安全性の向上

被害を少なくするために、私たちに今もできることがあります！



ライフライン被害・避難の備え

事前に準備しておこう チェックしてみよう！

すぐに避難できるよう準備しておこう！

- 非常持出品
- 非常用食料・飲料水
 - ラジオ
 - 懐中電灯（予備の電池も用意する）
 - 救急セット、常備薬、お薬手帳
 - ヘルメット、防災ずきん
 - 軍手
 - 貴重品（現金、印鑑、預金通帳など）
 - 携帯電話の充電器
 - 生理用品、おむつ
 - 新聞紙
 - 運動靴

- ライフラインが復旧するまでの間、生活できるよう備えよう！ 非常備用品
- 3日分の食料・飲料水（推奨1週間分）
 - 簡易トイレ
 - トイレ用ペーパー
 - カセットコンロ、予備のガスボンベ
 - 簡易食器（紙皿、紙コップ、わりばし）
 - 洗面用具（歯ブラシ、タオル、ドライシャンプーなど）
 - キッチン用ラップ、アルミホイル
 - 飲料水を貯めるポリタンク
 - 工具類（ロープ、バール、スコップなど）

（赤ちゃんがいる家庭）

- ミルク、ほ乳びん、おむつ、おんぶひも、ミルク用飲料水、防寒着、帽子、衣類、バッグなど

（高齢者や身体の不自由な方がいる家庭）

- 常備薬、看護補助具、おむつ、予備の補聴器、障害者手帳など

～なるべく用意しよう～

- 下着、着替え
- 毛布、タオル
- ビニール袋
- ライター、マッチ、ろうそく
- 使い捨てカイロ
- ウェットティッシュ
- メガネ、コンタクトレンズ（保存液）



※各個人にあった備品を考え、備蓄しましょう。

このマップの活用の仕方

大地震は、いつでもどこで発生してもおかしくありません。私たちは、地震の発生を防ぐことはできませんが、建物の耐震化や家具の固定など、地震に対する事前の備えを行うことで、被害を小さくすることは可能です。
いざというときに備えて、このマップで自分の住んでいる場所や地域の危険性を確認し、地震に備えておきましょう。

活用のしかた



地震発生時の心構え／行動のポイント

経過時間	行動のポイント
地震発生	<p>最初の大きな揺れは1分間</p> <ul style="list-style-type: none"> まず、身を守る 机の下などへ。慌てて外へ飛び出さない。 脱出口を確保する ドア、窓を開ける。
1～2分後	<p>揺れが収まったらまず火の始末</p> <ul style="list-style-type: none"> 火元を確認する 火が出たら落ちて着いて初期消火。 家族の安全を確保する 倒れた家具の下敷きなどでケガをしていないか確認する。 靴をはく 室内に散乱したガラスの破片などから足を守る。
3分後	<p>隣近所の安全確認 火災の発生をふせぐ</p> <ul style="list-style-type: none"> 隣近所に声をかける けが・行方不明者の確認、救出・救護。 近所に火が出ていたら初期消火 大声で知らせる。 消火器を使う。 バケツリレーをする（日頃から風呂に水をためておく）。
5分後	<p>ラジオなどで正しい情報を入手</p> <ul style="list-style-type: none"> 正しい情報をつかむ ラジオや町役場、自主防災組織の情報を聞く。 電話はなるべく使わない 安否確認は「災害用伝言ダイヤル171」で。 家屋倒壊などの危険があれば避難 避難をするときはガス栓を閉め、ブレーカーを落とす。
数時間後	<p>協力して消火 救出・救護活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 水・食料は蓄えているもので 壊れた家には入らない 災害情報・被害情報の収集
3日後	

いざというときのために

いざというときにあわてないために、日頃から家族で災害時の避難場所（又は集合場所）や、連絡方法について話し合っておきましょう。

我が家の避難場所		家族との連絡方法	
1			
2			

家族の名前	生年月日	血液型	会社・学校
		名称	TEL

正確な情報収集のために

災害時にはデマなどが拡散する場合があります。そのため、不確かな情報は信じず、正確な情報を確認してください。

ラジオ局

ラジオ局周波数	
NHK 第1	AM594kHz
TBS ラジオ	AM954kHz
文化放送	AM1134kHz
日本放送	AM1242kHz
NACK5	FM79.5MHz

災害用伝言ダイヤル

【NTT 災害用伝言ダイヤル】の使い方

①伝言を登録する場合（音声案内があります）
【171】をダイヤル→音声ガイドに従い【1】をプッシュ
→049-xx-xx-xxxx（被災者の電話番号）

②伝言を聞く場合（音声案内があります）
【171】をダイヤル→音声ガイドに従い【2】をプッシュ
→049-xx-xx-xxxx（被災者の電話番号）

詳しくは <http://www.ntt-east.co.jp/saigai/>

「フォロー電話」サービスで確認しよう！

町防の防災情報をメールでお届けします
防災行政無線で放送した内容を電話で確認できます。
0800-800-0799（フリーアクセス）

「防災情報メール」配信サービスに登録しよう！

町防の防災情報をメールでお届けします
お持ちの携帯電話から以下のアドレス宛てに空メールを送り、届いた URL にアクセスすると登録手続きができます。登録手続きの際、配信カテゴリを選択する画面では、「防災」を選択してください。
town.hatoyama@sg-m.jp